

テーマ：12 Point 程度

「現職者共通研修 事例報告

発表抄録 作成指針

*演題以外は10Point程度で書式をそろえる

キーワード：作業療法キーワード集より3ワード

(最新の機関誌「作業療法」参照)

所属：(社)福岡県作業療法協会

氏名：教育部

1. (研究の) 目的又ははじめに

症例研究の目的を述べる。本症例研究のテーマを具体的に明確に述べる。「担当し、改善と知見が得られたので報告する」といった記述にあたり、本研究のテーマが明確に伝わるよう、なぜその症例を取り上げたか、本研究を通して視聴者へ伝えたいことは何かを具体的・端的に述べる。テーマを絞り、長期介入した場合は期間を限定したり、種々の問題に介入した場合でもその問題点を絞るなどの工夫をする。ここでのインパクト・テーマの明確さが本研究の視聴者への関心を高める。

2. 事例紹介

年齢、性別、疾患名、現病歴、既往歴、家族構成、職業など、主に医学的所見も含めた個人因子・環境因子に該当する部分となる。今回の研究で特に関連のある事項を優先して記述する。事例紹介に関しては表1を参照して、個人情報保護に十分に配慮すること。

3. 作業療法評価

主に介入前の評価のまとめと解釈として記述する。全体像として主な活動及び参加状況とそれらに関連した健康状態や心身の状況、背景因子についてまとめる。

また、本研究のテーマ関わる主要な問題点等について記述する。データの提示に関しては、テーマに関連したものに限定し、数字の羅列にならないようにする。

評価表・検査に関しても、データはテーマに関連したものに限定し、その他に関してはまとめとして記述する。

観察評価については、観察の視点を明確にし、事実情報のみを記述する。

対象者本人や家族の訴えや希望などについても触れておく。

4. 作業療法実施計画(プログラム)

テーマに沿った目標に限定し、その目標に対する介入方法について記述する。実施課題・作業、形態、頻度、期間や関わり方など。目標達成に向け、作業療法士がどのような意図を持って作業を選択し、どのように関わるのかを明確且つ具体的に記述する。

5. 作業療法(介入)経過

計画に記述した内容と関連したことに絞り、「どのような経過」をたどったのかを述べる。項目をつける、時期を分ける、プログラムの変更やその理由、データの変化など整理して、伝わりやすい工夫をする。OTRが感じたこと、考えたことなどを理由としての事実として記述しても構わない。

6. 結果

介入後の評価のまとめとして記述する。内容に関しては「3. 作業療法評価」と同様になるが、主に変化した内容、データを具体的に記述する。

作業療法の介入によって、対象者の方の生活がどのように変化したのか、その事実情報を具体的に記述するとよい。

7. 考察

「6. 結果」で記述した内容についての解釈を記述する。今回のテーマに沿った自分なりの解釈や考えを述べる。主な内容として、

- ① 介入によってどのような結果が得られ、それらはどのような理由によるのか
- ② 今回の実践により、対象者の活動や参加にどのような変化をもたらしたのか。対象者にとっての意味や価値、QOLへの視点について
- ③ 今回の実践結果と先行研究などとの比較について
- ④ 臨床的な意義や応用、活用などについて
- ⑤ 今後の介入方針や予後について

など。

箇条書きや図式の挿入など伝わりやすい工夫と整理をして述べる。今回のテーマを通して考えたこと感じたことを素直に表現する。考察を裏付けるような理論的背景や文献・研究などある場合には明確に示す。

その他

- ①抄録はA4用紙1枚にまとめる。
- ②字体・文末の表現は統一する。
- ③項目・見出しは本文と字体を変えるなど見やすいように工夫する。また、各項目はこの書式を参考にし、各自適切な表現・配置を考慮してよい。

表1 匿名化のための本文記入上の注意（重要）

項 目	注 意 事 項
1. 氏 名	A 氏, B さん等の記号情報に置き換える. イニシャル (SH 氏等) は使用しない.
2. 生年月日	記載しない.
3. 入院年月日	記載しない.
4. 年 齢	生活年齢を記述するが, 経過の記述と併せて内容に影響を与えない場合には 50 代前半, 60 代半ば, 70 代後半等と略記する.
5. 経過の記述	「25 歳時に結婚」「29 歳時に発症」「31 歳時に入院し 3 カ月後に作業療法を開始」など, 生活年齢と経過年数・月数・日数で表記する.
6. 職 歴	自動車販売, 運送業, デパート勤務など, 業種・職種で表記し, ○○株式会社等の社名は記載しない.
7. 施設名	施設名は記述せず, 総合病院, 精神科病院, 老人デイサービスセンター, 老人保健施設等の領域分類, または精神療養病棟, 回復期リハビリテーション病棟, 訪問リハビリテーションなど, 認可施設・指定サービス分類等の名称で表現する.
8. 県名・地名	A 県, B 市等の記号化した情報を用いる. イニシャルは使用しない. その他, 地域が限定されるような表現は極力避ける.

(社) 日本作業療法士協会 『事例報告の手引き, p9』より.